

「平成24年秋の叙勲」受章



瑞宝单光章
元国勢調査員
吉井明雄さん(大藪)

昭和35年に初めて国勢調査員を務められてから、50年間で計10回の国勢調査に従事され地区内の世帯をくまなく訪問し、すべての調査票を回収する姿勢が評価され、統計調査員の模範として受章されました。

吉井さんは、「地域の皆さんに協力いただいたおかげです。体が元気で家族の協力もあり、10回も続けることができました。年齢も80歳近くになり、このような立派な章をいただいてありがたい」と話されました。



瑞宝小綬章
元公立高校校長
足立勝美さん(九鹿)

昭和35年10月から平成10年3月まで、教育に対する情熱と深い識見をもって、心身ともに健康な生徒の育成に努力を払い、卓越した指導力を発揮し、教育行政の振興に多大な貢献をされたことが認められ受章されました。

足立さんは、「豊岡高校で校長をしていた時、100周年記念事業があり、その成功が評価されたのではと思う。いい年齢になったが、これからも子どもたちの幸せのために役に立つがあれば、何でもやっていきたい」と話されました。



田中 貢さん



奥山謙一郎さん



安井義弘さん

9月12日、田中貢さん（葛畠）、奥山謙一郎さん（上箇）、安井義弘さん（東上野）の3人の方々が、兵庫県公館で行われた「平成24年度交通安全県民大会」において、交通安全功労者表彰（兵庫県知事感謝）を受賞されました。

これは、交通安全活動を積極的に推進し、明るく住みよい地域社会づくりに貢献した功績が認められたものです。

受賞されたみなさんは、「養父市から交通事故が減るように、警察を中心に地域交通安全推進員などが協力して、交通安全の推進に努めたい」と話していました。

交通安全功労者表彰を受賞